

# 旭中央病院が地方独立行政法人へ移行

地方公営企業として市が経営する病院から、市が100%出資して設立する地方独立行政法人が経営する病院になります。

今後も市立病院としての役割を果たし、皆さんから信頼される病院として安全・安心な医療を提供していきます。移行による診療時間などの変更はなく、これまでと同様に受診できます。

## 問い合わせ先

地方独立行政法人総合病院国保旭中央病院

(☎63-8111・代表)



旭市長  
明智 忠直

本日4月1日、旭中央病院が地方独立行政法人として新たなスタートを切りました。昭和28年3月の開設以来、関係者の努力により全国でも最大級の自治体病院に成長するとともに、地域の中核的な基幹病院として皆さんの健康を守ってきた旭の宝です。地方における医師、看護師確保の難しさ、目まぐるしく変わる国の医療政策への対応など、

将来にわたって安定した経営を行うためには、厳しい医療環境に速やかに対応していかなければなりません。

今後も、地方独立行政法人としての強みを最大限に発揮して、経営基盤のさらなる向上と、地域の健康維持、増進に寄与することを期待するとともに、吉田理事長をトップとする新体制の下、旭の宝にますます磨きをかけ発展させていきたいと思えます。

最後に、これまでの市民、議会、各種団体、関係機関の皆さまのご理解とご協力に、この場を借りて改めて感謝申し上げます。



理事長  
吉田 象二

旭中央病院は、4月1日から地方独立行政法人へ移行しました。この法人は旭市が議会の議決を経て独立した組織として設立したもので、自治体に代わって病院運営を行います。移行後も市立病院としての役割は変わりませんが、市民の皆さまのニーズにより柔軟、迅速に対応できるようになることが期待されています。

病院開設以来、自治体病院の模範となるべく「すべては患者様のために」という理念の下、医学的にも、経済的にも、社会的にも適正な地域医療の実践に心掛けてきました。今後も超高齢化、人口減少という激変する社会環境にも耐えられる、さらに進化した医療提供体制を構築していく予定です。病院運営に関しても公共性、経営の透明性、自主性が強化され、診療実績は有識者で構成される評価委員会定期的に事業評価が行われます。これからも住民の皆さんに安心していただけるよう、適正な医療介護サービスを展開していきますのでよろしくお祈りします。

## 宝くじの助成で整備

# あさピーデザインのコミュニティバスが登場

飯岡地区を運行するコミュニティバスの1台が、あさピーのデザインをラッピングした新しい車両にリニューアルし、4月1日から運行を開始します。

## さらに利用しやすく

新しい車両は、33人乗りの小型バスで、乗降口の段差を低くした「ノンステップバス」を採用。高齢者や車椅子の人の乗り降りもスムーズに行えます。

購入にあたっては、宝くじの社会貢献広報事業として、宝くじの受託事業収益を財源に実施している「コミュニティ助成事業」の支援を受けています。

## バスに広告を掲載しませんか

市内を運行している「旭市コミュニティバス」は、年間約9万人が地域の足として通院、通勤、通学、買い物などに



利用しています。

たくさんの方が町中で目にしているコミュニティバスは「移動する広告媒体」です。コミュニティバスの車体に広告を掲載してみませんか。今回は新車両へのリニューアルに伴い、広告掲載を新規に募集します。そのほかの車両4台についても随時募集しています。

くわしい申し込み方法などは、市ホームページで確認するか企画政策課に問い合わせください。

## 申し込み・問い合わせ先

企画政策課企画調整班 (☎62-5307)